

## 大阪大学核物理研究センター研究計画検討専門委員会議事録（案）

日時：平成 28 年 4 月 1 日（金）13:00-16:00

場所：核物理研究センター 本館二階会義室

出席者：（新旧委員合同委員会）

- 委員：川畑貴裕（京大）、伊藤正俊（東北大）、関口仁子（東北大）、前田幸重（宮崎大）、澤田真也（KEK）、今井伸明（東大）、大津秀暁（理研）、阪口篤志（阪大理）、宇都野穰（原研）、中田仁（千葉大）、菊永英寿（東北大）、成木恵（京大）、若狭智嗣（九大）、森正樹（立命館大）、緒方一介（RCNP）、青井考（RCNP）、民井淳（RCNP）、野海博之（RCNP）、大西宏明（理研・RCNP）、居波賢二（名大、TV 会議システム）
- センター長：中野貴志

欠席者：

- 上野秀樹（理研）、木村真明（北大）、慈道大介（首都大）、山崎祐司（神戸大）、明孝之（大工大）、常定芳基（大阪市大）、

### 委員の紹介、委員長・幹事の選出、推薦委員の選出

- 委員の互選により、委員長（今井）、センター外幹事（川畑）、センター内幹事（野海）を選出した。
- B-PAC 委員として P-PAC 委員の伊藤、中田を選出した。残り 5 名はセンター長・委員長推薦で決定する。
- Q-PAC 委員として P-PAC 選出委員候補の議論をした。ここで出た候補に、センター長・委員長推薦を加え、4/6 開催の 2015 年度第二回 Q-PAC で議論をしたのち、委員を選出する。

### 報告事項

#### 1. 一般報告（中野 RCNP）

- 人事関係：
  - 実験特任助教：小林信之氏（若手支援、テニユアトラック）
  - 理論特任助教：池田陽一氏（ポスト京、任期 5 + 5 年）
- 予算関係：
  - 年々減少傾向の運営費交付金プロファイル
  - 平成 30 年度に、1 年間のシャットダウンを伴う加速器施設のオーバーホールを行う予定で折衝中
  - ◇ 加速器施設の運転効率向上など、各種改善を行う。

◇ 中期計画の中間評価の年に合わせる

- 大型計画
  - J-PARC 実験施設の高度化計画および理研 RIBF の高度化計画に RCNP が連携機関として協力
  - 東北大学電子光物理学研究センターとの共同で光子ビームによるクォーク核物理計画を提出
  - 次の機会には RCNP の大型計画を出したい。
    - ◇ コミュニティの壁を超えるような異分野融合が鍵になるかもしれない
- 新学術領域「短寿命 RI 供給プラットフォーム」が採択された。
  - 理研、東北大などともに RI 供給の支援体制を作る。
  - 課題は十分な需要を示すこと
- 大阪大学 J-PARC 分室が立ち上がった (3/18)
  - J-PARC センターが阪大の勤務地になる。RCNP から菅谷頼仁 (助教)、高橋智則 (特任研究員) が常駐予定。
- 医理連携プロジェクト
  - プロジェクト分予算が大幅減に。組織整備で新規要求を検討する。一例として、RCNP 内に PET センターを設置する、など。

## 2. 平成 27 年度一般実験費執行報告 (青井)

- 執行額 : 3255.9 万円 (当初配分 2500 万円 + 年度末追加 800 万円)
  - 内訳 : 438.3 (B-PAC)、419.6 (Project)、2398 (共同利用整備)
    - ◇ 年度末の調整配分で共同利用実験に係る部品や消耗品等の調達が進んだ。
    - ◇ LAS 読み出し系更新に甲南大と理研が協力して頂き大変助けになった。

## 3. B-PAC 報告 (若狭)

- 配付資料 (Indico 上に掲載) 及び資料 (添付ファイル) に基づき、3月14日開催の第79回B-PACについて報告があった。

## 4. newCARRACK について (中野)

- リュードベリ原子を用いた暗黒物質アクシオン探索装置の仮置きを認めた。仮置き場所は未定。→京大からの移管を行った方がよい。
- 研究グループとしては、将来、プロジェクト申請を行い、認められれば研究を行いたいとのこと。

## 5. 研究会報告確認 (堀田)

### 審議事項

#### 1. 研究会応募分の審議

- NIC School on Nuclear Astrophysics (2016/6/13-17, 新潟大学) : 採択額 50 万 : 嶋達志氏を実行委員に加えること
- The 14th International Conference on Meson-Nucleon Physics and the Structure of the Nucleon(MENU 2016) (2016/7/25-30, 京都大学) : 採択額 60 万
- 国際会議「共鳴と非エルミート量子力学 2016」(2016/8/3-5, RCNP) : 採択額 25 万 : 研究会名は英語名にすること
- 10th APCTP-BLTP JINR-RCNP/RIKEN Joint Workshop on Nuclear and hadron physics (2016/8/17-21, 理研和光) : 採択額 20 万 : 理研から資金獲得をすること
- NNR 16 Neutrino nuclear responses for double beta decays and astro-neutrino interactions(2016/9-11 の2日間、RCNP) : 採択額20万
- Fifth International School for Strangeness Nuclear Physics (SNP School 2016) (2016/11/18-20, 東北大学) : 採択額 50 万 : 次回から RCNP で開催することを求める

## 2. 前回議事録確認 (堀田)

- 審議の結果、前回 (平成 28 年 1 月 27 日開催分) の議事録 (案) を承認した。

## その他

- 次回開催日として 8 月 17, 18, 19 日のいずれかで調整する。

# まとめ

応募件数：13件、応募日数：58.7日、申請予算：476.8万円

採択件数：10件、採択日数：24.7日(42%)、採択予算：64.0万円(13%)

No.	Spokesperson	装置・目的	応募日数	採択日数	G	備考
E468	H. Fujioka/T. Kawabata	GR+LAS	4.0	4.0	A	416MeV → 392 MeVを推奨
E469	J.K. Ahn	GR+LAS	3.5	S		H-dibaronとの関連・運動学の検討
E470	D.G. Jenkins	CAGRA+GR	6.0	6.0	A	
E471	E. Ideguchi/A. Tamii	CAGRA+GR	3.0	3.0	A	
E472	C.R. Hoffman	CAGRA+EN	10.0	1.5	A	Isomer比率とビーム純度を優先テスト
E473	T.L. Tang	CAGRA+EN	4.0	S		反応過程(multistep)の検討
E467	K. Ninomiya	MuSIC	9.0	2.0	A	MuSICアップグレード→大強度
E475	T. Matsuzaki	MuSIC	6.0	2.0	A	先ず手法を確立( $\gamma$ -B.G. etc.)
E476	K. Takahisa	MuSIC	4.0	S		実験条件に対する計算・p/d分離
E474	Y. Watanabe	核データ	3.0	3.0	A	
E477	T. Maruyama	検出器開発	4.0	1.0	A	測定の最適化・大強度中性子
E479	K.S. Lee	検出器開発	0.2	0.2	B	
E478	K. Kobayashi	半導体	2.0	2.0	A-	